



学校だより
1月号

下目黒

Shimomeguro Elementary School <https://www.meguro.ed.jp/1310005>

令和8年 1月8日
目黒区立下目黒小学校
校長 守屋 大貴



明けましておめでとうございます

校長 守屋 大貴

新年が明けました。2026年の干支は丙午（ひのえ・うま）です。十干の丙（ひのえ）は、太陽や明るさ、生命のエネルギーを表すとされています。十二支の午（うま）は、躍動感や行動力、前進、成功を象徴する動物です。こうしたことから、丙午の年は、「勢いとエネルギーに満ちて、活動的になる年」と考えられています。本校も活力に満ちた年になるよう、教職員一同力を合わせてまいります。保護者の皆様には、本年も引き続きご理解とご協力をいただきますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

さて、長期休業日明けは、学校生活のきまりや子供の目標の確認を中心に、改めて指導する大切なときです。「返事・挨拶・後始末」や「時刻を守ること」、「身の回りを整えること」、「迷惑のかかる言動を慎むこと」等の凡事徹底や、「新たな目標を決めて、努力を継続すること」等の子供一人一人を高める指導に、改めて取り組みます。9月の学校だよりで後期開始時の指導についてお知らせしましたが、この時期も同様です。節目節目の指導を心掛けることで、子供の意識をさらに高めていきます。特に学年末のこの3ヶ月は重要です。学年末を迎えたとき、子供自身が自分の成長に達成感をもって今年度を終え、新年度を迎えることができるからです。そのために、新たなスタートの今月は、生活リズムを整えて登校することや、昨年を振り返って目標を達成する指導を一層心掛けます。ご家庭のご協力を引き続きお願いいたします。

先月12月6日は、大鳥中学校の開校十周年記念式典でした。区長や区議、地域、関係機関の方々が参列する中、在校生は姿勢よく立派に参列しました。大鳥中学校長が「地域の皆様に見守られて…」とお話しされたり、生徒代表が地域で活躍しようとする気持ちを盛り込んだ話をしたりする様子から、来年度から本校でも実施するコミュニティスクールの「子供や学校を核とし地域に絆を深める取組」の大切さを改めて感じました。今年度、都内の小・中・義務教育学校に占めるコミュニティスクールは、半数を超えました。今後、子供の成長や地域のさらなる活性化のために、保護者や地域、関係機関の皆様と学校が連携していくことが、ますます大切なと思います。

1月は「行く」、2月は「逃げる」、3月は「去る」と言われるように、今年度の残り3ヶ月はあっという間に過ぎていきます。毎日を大切に過ごすように引き続き子供に声を掛け、実り多い日々をしたいと思います。

12月のしもめ発表会では、多くの保護者や地域の方にご鑑賞いただきまして、ありがとうございました。子供たちは練習の成果を発揮して表現し、達成感と成長が見られました。ご家庭でも話題にさせていただいて、一層の満足感を感じているようでした。

今年度末までに転出予定のある方は、お早めに学校へご連絡ください。

本校では、お子さんが心と体を大切に守り、充実した学校生活を送ることができるよう努めています。お子さんに悩みや不安があったり、お子さんの様子が気になったりするときは学校に相談してください。

しかし、周囲の大人に相談しにくい、直接話すことができないなどの場合は、夏休み前に配布した相談シートを活用することができます。このことは、12月のお昼の会でも全校児童に話しました。相談シートは、職員室前にも常時置かれています。

ご家庭におかれましては、学校生活における出来事について話し合う機会をもってください。お子さんが「痛いな」「怖いな」「おかしいな」「モヤモヤするな」「イヤだな」と感じるがあれば、学校にご相談いただくか、相談シートや各種相談窓口を御利用ください。相談シートは、性暴力等だけでなく、体罰等に関する相談も記載することができます。

私たち教職員は、今後も児童の心と体を大切に守り、充実した学校生活を送れるようにしてまいります。保護者の皆様におかれましては、本校の教育活動にご理解、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



←児童・生徒を教職員等による性暴力から守るための第三者相談窓口
保護者の方も相談できます。